

たきいNOWは、地域の皆様に総合医療センターの「いま」をお伝えし、当院が提供する医療へのご理解を深めていただくことを主旨として発行しております。

“今しかできない”災害訓練を実施
院内アメニティサービスのご案内
市民健康講座を開催
新任部長・センター長のご挨拶
院内処方・調剤について

No.18

解体中の日本館を使用した“今しかできない”災害訓練を実施

平成29年2月2日(木)、解体中の旧本館を活用して、全国的にも珍しい、倒壊した建物から多数のけが人を救出する災害訓練を実施しました。

訓練当日は、守口市門真市消防組合の消防隊員や、当院と大阪府立急性期・総合医療センターの災害派遣医療チーム「DMAT」ら約120人が参加。

訓練は、建物が倒壊して火災も同時発生し、けがをした要救助者が多数取り残されたとの想定で、また、消防隊員達に負傷者の数や位置、けがの程度、救出経路などを事前に知らせない「ブラインド方式」での訓練となり、実際の災害現場と同じような状況が作り出されました。進入経路を探索・確

保してからレスキュー隊員が現場に到着。周辺からは「助けて!」「足が痛い」「怖い!1人にしないで!」など被災者の悲痛な叫び声が聞こえてくる中、要救助者の人数・けがの程度などを迅速かつ的確に掴んでいき、建物内に閉じ込められた被災者の救出では、必要に応じてブリーチング(倒壊した建物などでの救援活動の際、壁や床などを壊し、進入・救出に必要な開口部をつくる技術)を行い要救助者を救助。また、その穴をDMATの医師らが通り抜けて、けがの重症度で治療の優先順位を決めるトリアージの上、手当を行うなど、人命を守るには1分1秒もおろそかにできない非常に緊迫感のある訓練となりました。



トリアージ中の消防隊員



消防隊員による救出活動



消防隊員とDMATが連携しての活動



略 歴

平成元年3月	大阪市立大学医学部卒業
平成元年6月	大阪市立大学医学部附属病院 循環器内科医師
平成7年4月	芦原病院(現:浪速生野病院)内科医員
平成8年4月	大阪市立大学医学部附属病院 循環器内科医師
平成10年5月	国立循環器病センター専門修練医
平成12年5月	大阪市立大学医学部附属病院 循環器内科医師
平成15年1月	大阪市立大学大学院医学研究科 循環器内科学 病院講師
平成15年7月	大阪市立大学大学院医学研究科循環器内科学助手
平成18年10月	大阪市立大学大学院医学研究科循環器内科学講師
平成19年2月	関西医科大学 非常勤講師
平成26年4月	大阪市立大学医学部附属病院 心血管疾患集中治療部 副部長
平成27年7月	大阪市立大学大学院医学研究科循環器内科学 准教授
平成29年4月	関西医科大学内科学第二講座不整脈担当 診療教授 関西医科大学総合医療センター 不整脈治療センター長

平成29年4月1日付けで総合医療センター不整脈治療センター長を拝命しました。私は20年間、国立循環器病センター、大阪市立大学において不整脈診療に従事し、大阪市立大学においては不整脈治療グループを立ち上げてまいりました。このような経験を生かして、最先端、最善の不整脈治療を患者さんに提供することを目指して、地域医療・医学の発展に貢献できるよう尽力いたします。

不整脈治療はいまだに進化し、発展しています。今までは治らなかった不整脈がカテーテル治療やペースメーカーや除細動器などの植え込み型機器により治療可能になってきています。この地域では不整脈を専門的に診る医療機関が不足しておりました。大学病院としての高い専門性を基盤として適切な診断・治療を行うことが何よりも重要です。一人でも多くの不整脈で困っている患者さんに何らかの解決策を見いだせるよう、患者さんと対話し、当センターのスタッフとともに治療のために最新の技術を提供できるように精進してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

